

七二会地区

住民自治協議会だより 第2号

平成21年3月15日 発行：七二会地区住民自治協議会 総務・安全・広報部会

本年度の反省と今後に向けて

七二会地区住民自治協議会長 塚田昌穎

昨年2月設立された七二会地区住民自治協議会も、本年は具体的に事業を実施して参りましたが、初めての事業への取組みの難しさを、改めて痛感したところです。

先ず、中山間地域自治活動支援モデル事業は、市の事業内容の細部の決定が長引いたため、要支援集落の選定や生活支援員の登録等、事業実施に向けた取組みが遅れ、結果的に、草刈や側溝清掃等への充分な対応が出来なかったこと、又22年度から補助金等が一括交付になる区長会他9団体の組織等の見直しは、各団体の市からの補助金、交付金及び会費等の内容を精査し、組織・事業内容・予算等の見直しを進めておりますが、長年続いた団体組織等の見直しは容易ではありません。更に検討見直しを進め、22年の都市内分権一斉スタートに向け、遅くとも8月頃までに結論を出さなければならぬと思っています。

幸い本年は、懸案だった事務所が皆さんの支援で開所する事が出来ましたので、そこを拠点に、「自分達のまちは自分達でつくる」という新しい住民自治をモットーに「住んでいて良かった」と思える地域づくりを目指したいと思います。今迄のご支援に感謝を申し上げると共に今後のご協力をお願いいたします。

待望の事務所 OPEN!



事務所開き



事務所開きに寄せて

長野市議会議員 小林紀美子

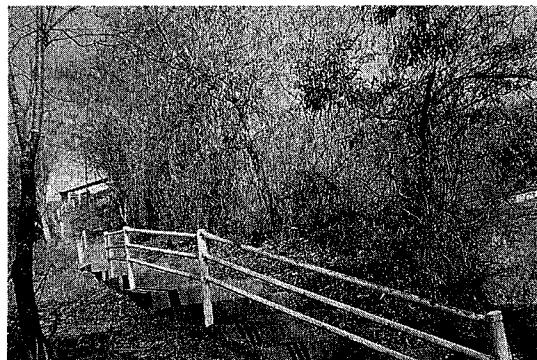
七二会地区住民自治協議会の拠点となる事務所が整備され、さる1月28日に関係者の皆様ご参加の下に、事務所開所式が行なわれました。平成21年度から、一括交付金がそれぞれの地域の自治協議会へ交付されることになっていますが、その地域地域にあった事業を検討し実施していくことになります。そのためには、既在の各種団体と話を進めこの地域に合った事業を決定すると共に、地域の皆様方からこの地域の活性化につながるご意見を聞き、問題点を洗い出し課題を解決していく為に、気軽に立ち寄っていただける場所にしたいと考えています。まだ試行錯誤の状態です。皆様と共に少しでも「住みよい地域七二会」を作つて行こうではありませんか。

七二会地区住民自治協議会 平成20年度事業

平成22年度より本格運用となる本協議会の、1年目の20年度各部会は「住んで良かった七二会」を目指し各事業を実施、見直しをして参りました。その一部をここにご紹介します。

総務・安全・防災部会

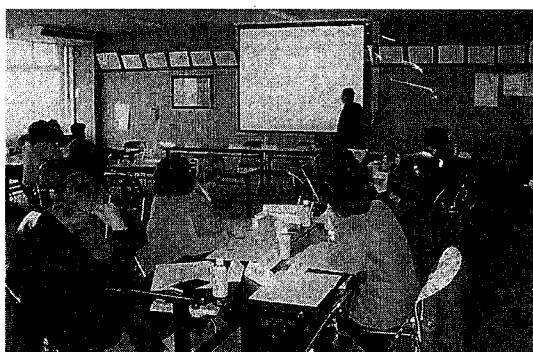
1. 平成22年度からの住民自治協議会の本格的活動に備え、現在の組織の見直し、事業費の活用、確保についての見直し案が、昨年12月の役員会で了承されました。今後は、現在活動中の各事業と計画の照合を急ぐ予定です。
2. 昨年に引き続き区長会の青色回転灯パトロール、大勢のボランティアの皆さんによる七二会子どもふれあい隊も実施し、子供たちも安心して通学を楽しんでいます。来年度も引き続き実施します。
3. 児童生徒の通学に安全のために、今年度も大勢の皆様にご協力いただきましたが、昨年2回ほど、まむし山の通学路付近に不審者が出没した。との情報が有りましたので、先ずは通学路の死角となる樹木を伐採し何処からでも見える様にする。と言う事で、まむし山と中央線の間の立木の伐採を、地主さんのご理解のもとに2月7日区長会で実施致しました。



まむし山 伐採前通学路周辺



まむし山 伐採後通学路周辺



地域福祉活動計画策定委員会



河きれ会（河川パトロール）の成果

健康・福祉部会

1. 部会構成団体の見直しと、活動について協議検討をしております。21年度をもって市が委嘱制度の廃止をする保健補導委員については、市の関与しない任意組織とし、その存続及び活動内容等は地区で決める。としていますので当地区では、地域の健康増進を推進して行く上には必要な組織であると判断し、組織形態、活動内容等は次年度に向け検討して行く事とした。
2. 地区社会福祉協議会は、区長会、民生児童委員協議会、保健補導員会、日赤奉仕団、老人クラブ連合会等の代表者が参画した協議会で構成されており、活動内容も福祉に関わる事業は多岐にわたって活動している為、組織の見直しに当たっては、事業を後退させず、より充実した事業を推進する為の運営方式を模索し検討していくことといったしました。

地域振興・環境部会

地域振興・環境部会 各種団体の年次計画に基づき、各事業を推進してまいりました。

1. 第9回陣場平山トレッキング大会は、さる10月26日晴天に恵まれ、近くは戸隠、アルプス連峰、遠くは浅間迄眺望がきき紅葉も相まって素晴らしい時間が過ごせました。地域外からの参加者も多数見え総勢100人以上の参加を頂き、昼食時にいただいた豚汁の味は又特別でした。
2. 第13回「ふれあい市」は、盆前8月11日市場で、正月前12月23日瀬脇商工会館で実施。地区内外から150名以上の皆様が来店され、しめ縄や正月用品の準備をされました。
3. 地区内遊休農地、耕作放棄地対策の為、地区内で実施されている優良事例の発表会を、来る3月23日



正月前の「ふれあい市」



陣場山トレッキング大会

に実施いたします。

4. 有害鳥獣対策は、定期的に調査を実施し、ワナ、電柵等での駆除も出来る様、対策委員会で検討してまいります。
5. 10月27日地区内の河川パトロールを実施。草を分け藪を乗り越えて各沢筋を見て廻りました。結果収穫は大きく除沢地籍で、まだ捨てて間もない温もりの残る生活用品が沢山散乱しており、複雑な思いで回収致しました。

教育・文化部会

各種団体の今後のあり方について協議し、次の通りそれぞれ方針を決定しました。

1. 中学校PTA、文化芸術団体連絡協議会、体育指導委員会の三団体は、組織団体であるが独自財源で事業を運営している為、会計上は特別会計団体と位置付け本会計とは別扱いとする。
2. 子ども会育成協議会、青少年育成委員会、青少年育成地区会議については、統合が可能か各団体で今後協議していく。
3. 人権同和教育促進協議会においては、男女共同参画の推進等も有り組織見直しについては今後検討していく。
4. 本会計に係わる団体の平成21年度予算については、住民自治協議会評議委員会で決定した予算編成方針に従って作成する。



子ども会育成協議会によるクッキー作り



ふるさとづくり七二会地区市民運動会

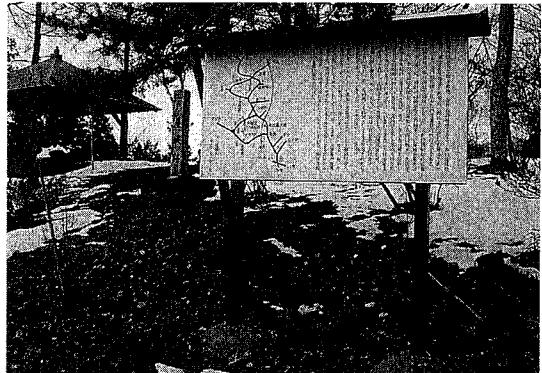
すくだし支援事業 実施事業の紹介



住民自治協議会における、地域の身近な課題への取組やまちづくり、活性化等についての事業を促進する。

1. 史跡説明看板の設置（上橋詰区、戸屋城址）説明文

この場所は有名な地方豪族、春日氏の城跡である。春日氏は伴野庄春日郷（北佐久郡望月町春日、現佐久市春日）の地頭であった。この七二会に移り住んだのは鎌倉時代のことである。初めは岩草村の春日山城を居城としたが、室町時代初期の延徳元年（1489）に、橋詰村の険阻なこの場所に戸屋城を築き居城とした。その所領は東は論地から西は梅木、念佛寺、長井など中条村の一部まで及び、その一帯を春日郷と総称した。有名な川中島の戦いの折には、武田信玄が小川の大日方氏にあてて春日氏を味方に誘ってほしいという文書（大日方家文書）を送っており、武田方として奮戦した。武田氏滅亡後、上杉景勝に属し慶長三年（1598）には上杉景勝と共に会津、米沢と移り行った。その地での代官として重く登用された有能な武将であった。（参考資料上水内郡史・七二会村史）弘化4年（1847）の善光寺大地震により、上下橋詰村の人口787人、家60軒のうち、潰れ家60軒、焼家1軒、半潰れ6軒、40人死失（むしくら日記）と有り、未曾有の被害を受けた。そのとき平地であった本丸跡は現在のようにゆがんだ地となり、前の所は崩れ落ちたと伝えられている。築城当時はもっと広い場所であった。



中央線、竹、立木の伐採後（瀬脇区）

2. 中央線、瀬脇地籍の竹、立木の伐採、他に、上橋詰地籍でも実施

道路沿に竹、立木が生い茂り、特に冬季間は日当りも悪い為残雪が何時までも有り、通行には非常に危険でしたが地主さんのご理解のもとに伐採し、日当りも良くなり朝、夕の通勤が安心して出来る様になります。

中山間地域自治活動支援モデル事業



人口減少や高齢化等により、社会的共同活動が難しくなっている中山間地集落の自治活動の方策を探ると共に支援を図る。

支援員により、草刈、除雪等の作業が行われました。

取組みが若干遅れた為、充実した支援が出来ず残念でしたが、次年度からは対応できる範囲が広がり、より充実した支援が出来るものと思います。

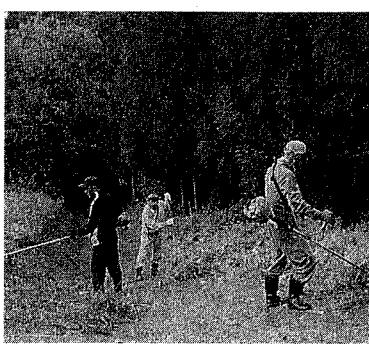
編集
後記

買ってもらった住民自治協議会といふピッカピッカのカバンを開けてみると、予期していた物、思いもよらない物等、沢山入っていました。

級長いわく出来ることから片付ける様一年間頑張りました、今後は次年度に託します。

発行に当たり、ご協力・ご助言いただきありがとうございました。

広報担当：倉田健・吉澤恵佐男



支援員による作業（道普請）



除雪